

第7回大学改革シンポジウム

TOP — 国立大学協会の情報 — 研修・セミナー — 平成19年度開催の研修 — 第7回大学改革シンポジウム

<テーマ>	国立大学法人における男女共同参画の在り方
<目的>	<p>我が国は男女共同参画社会の実現を「21世紀の我が国社会を決定する最重要課題」と位置付け、その総合的かつ計画的な推進を謳ってきている(男女共同参画社会基本法)。国立大学協会は、平成12年6月の総会において、『国立大学における男女共同参画を推進するために一-報告書-』を採択し、その後10年間にわたって男女共同参画推進状況を継続的に調査するため、現在行っているものも含めこれまで4回にわたり、追跡調査を実施している。</p> <p>本シンポジウムでは、この第4回までの追跡調査により、これまでの国立大学における男女共同参画の推進状況を振り返り、また、先進的な取り組み事例を知ることにより、国立大学法人における男女共同参画の在り方について幅広く、かつ多角的に意見交換を行うものである。</p>
<対象>	国立大学法人等の役職員（教員の方も含みます） 男女共同参画推進連携会議（えがりてネットワーク）構成団体関係者 （えがりてネットワーク各構成団体の傘下にある個々の機関の関係者も含みます）
<定員>	300名程度
<会場>	学術総合センター 一橋記念講堂（東京都千代田区一ツ橋2-1-2）
<日時>	平成19年12月21日（金） 13時30分から17時
<内容>	<p>（開会挨拶）</p> <p>【基調講演】 男女共同参画とワーク・ライフ・バランス（40分） 内閣府 男女共同参画局長 板東 久美子</p> <p>【基調報告 国立大学における男女共同参画について（20分） 教育・研究委員会男女共同参画小委員会専門委員 秋田大学教育文化学部 教授 長沼 誠子</p> <p>（休憩 20分）</p> <p>【パネル討論】 国立大学法人における男女共同参画の在り方（120分） パネリスト 北海道大学女性研究者支援室長 有賀 早苗 東京大学男女共同参画オフィス 特任教授兼コーディネーター 都河 明子 お茶の水女子大学女性支援室長 宮尾 正樹 名古屋大学男女共同参画室長・男女共同参画担当総長補佐 （教育・研究委員会男女共同参画小委員会専門委員） 束村 博子 内閣府男女共同参画局 調査課長 神田 玲子 モデレーター</p>

